

2. 個人消費

個人消費は、このところ持ち直しの動きがみられる。

(前年同期比%、( )内は季調済前期比%)

6月

	2008年度販売額	2007年度	2008年度	2008年7-9月	10-12月	2009年1-3月	2009年3月	4月	5月
消費総合指数 (実質)		0.7	1.5	(0.4) 0.3	(1.7) 1.7	(1.7) 4.7	(0.8) 4.0	(0.6) 3.1	(0.6) 1.9

家計調査	実質消費支出		0.8	2.9	(0.0) 2.3	(0.7) 3.2	(0.2) 3.2	(0.2) 0.4	(0.9) 1.3	(2.2) 0.3	
	実質消費支出 (除く住居等、世帯数・デフレーター調整後)		2.9	0.5	(0.7) 0.5	(0.2) 0.6	(0.4) 1.4	(2.4) 0.8	(1.0) 0.7	(0.9) 2.4	
	家計消費指数(実質)				2.0	3.3	4.6	2.4	1.6		
	平均消費性向(季調値)		73.6	73.3	74.0	71.4	74.1	75.5	75.8	72.8	
販売側統計	小売業販売額 (商業販売統計、名目)	134.1兆円	0.5	1.1	(0.3) 0.8	(1.2) 1.5	(1.8) 3.9	(1.0) 3.8	(0.7) 2.8	P (0.0) P 2.8	
	百貨店販売額 (既存店、名目)	7.8兆円 (全店)	0.8	6.7	3.2	7.8	11.1	12.9	11.3	P 12.1	
	スーパー販売額 (既存店、名目)	12.8兆円 (全店)	1.1	2.5	1.3	2.4	4.7	4.9	4.0	P 3.1	
	コンビニエンスストア販売額 (既存店、名目)	8.1兆円 (全店)	0.9	5.4	7.6	6.9	4.2	3.9	4.0	P 0.8	
	新車新規登録・届出台数 (乗用車・軽を含む)		3.7	11.0	(3.5) 1.5	(7.0) 14.2	(12.4) 23.4	(3.5) 24.5	(5.7) 22.8	(3.3) 17.4	P (5.8) P 12.1
	旅行者取扱金額(国内) (名目)	2.1兆円	1.3	4.6	3.9	3.4	8.6	7.2	12.4	17.8	
	1.2兆円	2.4	11.4	8.7	15.2	19.5	18.9	16.9	34.1		

(備考) 1.消費総合指数は内閣府の試算値。なお、消費総合指数は四半期別GDP速報(QE)の推計方法の変更に伴い、2005年2月に改定を実施した。

作成方法についてはディスカッションペーパー (<http://www5.cao.go.jp/keizai3/discussion-paper/menu.html>)を参照。

2.実質消費支出(除く住居等、世帯数・デフレーター調整後)は、二人以上世帯の実質消費支出から住居、自動車、仕送り金、贈与金を除いて世帯数を乗じた内閣府試算値。

なお、季節調整はx12による。

3.実質消費支出、実質消費支出(除く住居等、世帯数・デフレーター調整後)及び小売業販売額は、うるう年調整をしている。それ以外はうるう年調整をしていない。

4.家計消費指数は、家計調査の結果のうち、購入頻度が少ない高額消費部分について「家計消費状況調査」の結果と合成し、指数化したもの。

5.平均消費性向(季調値)は勤労者世帯の数値。

6.小売業販売額、百貨店、スーパー、コンビニエンスストアは商業販売統計(経済産業省)により作成。既存店とは、調査月において、当月と前年同月とともに存在した店舗をいう。(P)は速報値。

7.新車新規登録・届出台数は内閣府で季節調整を行っている。なお、最新月はナンバーベース(特殊用途車を乗用車や貨物車に配分する)によるが、それ以前の月は登録ナンバーベース(特殊用途車を乗用車や貨物車に配分しない)によるものであり、両者は厳密には一致しない。

8.旅行は大手旅行者12社(2008年3月までは13社)取扱金額。

